

【かんしょ】

1 ハスモンヨトウ

1) 調査方法

調査時期：散布前（なるべく散布直前がよい）及び散布3日後（IGR剤の場合は7日後）

調査方法：1区1m²の3ヶ所程度について、幼虫数を調査する。若齢、中齢、老齢を記録しておくと参考になる。

2) 表示法

数値：生息幼虫数

3) 調査結果

区別	農薬名	濃度・量 (倍)	生 息 数			薬害
			散布前	日後	日後	
展示区						
対照区						

2 コガネムシ類

1) 調査方法

調査時期：収穫時

調査方法：1区の中央20株について根部の被害状況を程度別に調査する。

薬害は、収穫時に肉眼観察する。

被害程度別基準

程度	発病程度	指数
A :	食害痕が11ヶ所以上あるもの	4
B :	" 7~10 "	3
C :	" 4~6 "	2
D :	" 1~3 "	1
E :	食害痕なし	0

$$\text{発病度} = \frac{\sum (\text{指数} \times \text{被害いも数})}{4 \times \text{調査いも数}} \times 100$$

2) 表示方法

数値：調査株数の合計で示す。

3) 調査結果

区別	農薬名	濃度・量 (倍)	調査いも数	被害いも率 (%)	被 害 度	薬害
展示区						
対照区						

野菜各品目共通

1 線虫類

線虫の防除効果の判定には、直接土壤中の線虫密度を調査する方法（ベルマン法）および指標植物を播種して調査する方法（トラップ法：トマト、ホウセンカ）によって線虫密度を推定。又、試験対象作物の根部を掘取り、被害状況を調査する方法が取られている。

(1) ネコブセンチュウ

ネコブセンチュウの被害程度の調査基準

程度	発病程度	指数
A : 株当たりのこぶが特に多く殆どが連なり細根が少ない		4
B : " こぶは多くかなり連なっている		3
C : " こぶは中程度で殆ど連なっていない		2
D : " こぶはまばらである		1
E : " こぶを全く認めない		0

$$\text{発病度} = \frac{\sum (\text{ネコブ指数} \times \text{被害株数})}{4 \times \text{調査株数}} \times 100$$

調査結果

区別	農薬名	濃度・量(倍)	調査株数	被害株数	被害株率(%)	ネコブ指数	葉害
展示区							
対照区							

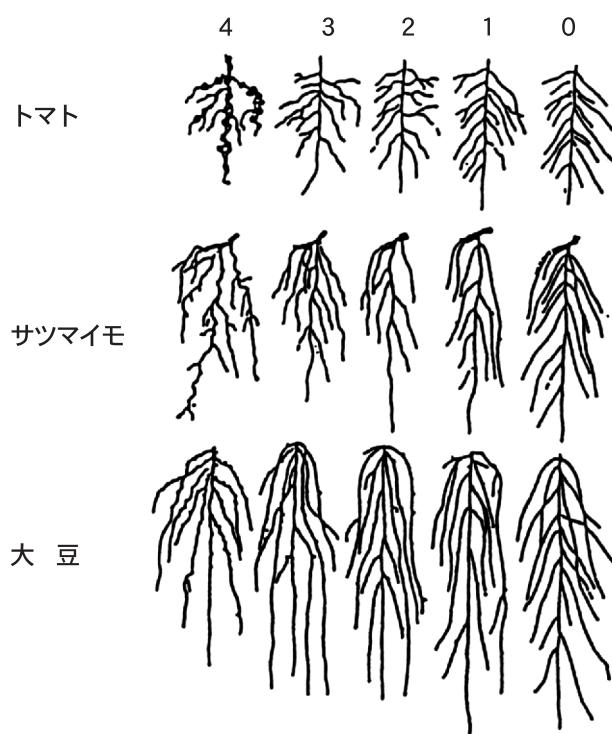


図6・2 ネコブセンチュウおよびシストセンチュウ被害度階級基準図

上段：トマトにネコブセンチュウが寄生した場合

中段：サツマイモにネコブセンチュウが寄生した場合

下段：大豆にシストセンチュウが寄生した場合

(2) ネグサレセンチュウ

ネグサレセンチュウの被害程度の調査基準

程度	発病程度	指数
A :	株当たりの病斑が特に多く殆どが連なり腐敗している	4
B :	" 病斑は多くかなり連なっている	3
C :	" 病斑は中程度で殆ど連なっていない	2
D :	" 病斑はまばらである	1
E :	" 病斑を全く認めない	0

$$\text{発病度} = \frac{\sum (\text{指数} \times \text{被害株数})}{4 \times \text{調査株数}} \times 100$$

調査結果

区別	農薬名	濃度・量(倍)	調査株数	被害株数	被害株率(%)	被害株数	薬害
展示区							
対照区							

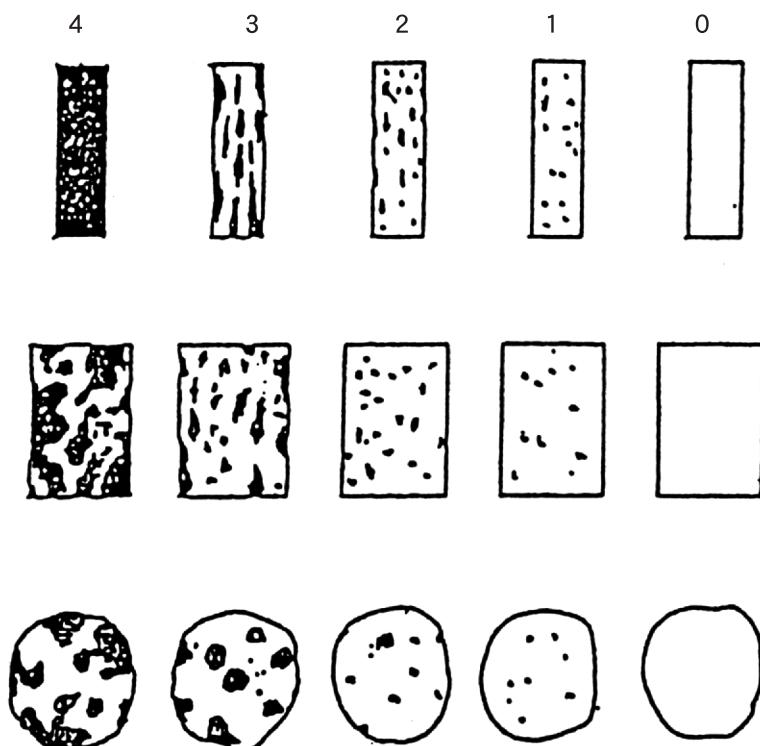


図 6・3 ネグサレセンチュウ被害度階級基準図

上段：根

中段：塊根（サツマイモ）

下段：塊茎（ジャガイモ）

2 天敵顆による害虫防除

(1) 補食性天敵（カブリダニ、ヒメハナカメムシ、テントウムシ、クサカゲロウ等）

1) 調査方法

調査時期：放飼前（直前が望ましい）及び放飼後7～10日間隔で2～3回行い対象害虫の生息虫数を調べる。複数回放飼の場合には、放飼毎に行う。

調査：1区10株、各株1葉の計10葉程度について生息数を調査する（なるべく天敵も計数する）。

2) 表示方法

区別	天敵名	濃度・量 (倍)	生息虫数			放飼前比	
			散布直前	日後	日後	日後	日後
展示区							
対照区							

注）放飼天敵の調査を行った場合には、別表を作成する。

(2) 寄生性天敵（ヒメコバチ、アブラバチ、ツヤコバチ、コマユバチ等）

1) 調査方法

調査時期：放飼前（直前が望ましい）及び放飼後7～10日間隔で2～3回行い対象害虫の生息虫数を調べる。複数回放飼の場合には、放飼毎に行う。

調査：1区10株、各株1葉の計10葉程度について生息数を調査する（なるべく天敵も計数する）。

2) 調査結果

区別	天敵名	濃度・量 (倍)	生息虫数			放飼前比	
			散布直前	日後	日後	日後	日後
展示区							
対照区							

注）放飼天敵の調査を行った場合には、別表を作成する。